



はじめに

ここでは、次の内容について説明します。

- 「対象読者および使用」 (P.vii)
- 「表記法」 (P.vii)
- 「Cisco Unity Connection のマニュアル」 (P.viii)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.viii)
- 「シスコ製品のセキュリティ」 (P.ix)

対象読者および使用

このマニュアルでは、Cisco Unity Connection とサポート対象バージョンの Cisco Unified Communications Manager との連動を設定する手順について説明します。SIP トランクを介した Cisco Unity Connection との連動がサポートされている Cisco Unified CM のバージョンのリストについては、『*SIP Trunk Compatibility Matrix: Cisco Unity Connection, Cisco Unified Communications Manager, and Cisco Unified Communications Manager Express*』 (http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_device_support_tables_list.html) を参照してください。

表記法

『*Cisco Unity Connection 向け Cisco Unified Communications Manager SIP インテグレーションガイド リリース 10.x*』では、次の表記法を使用します。

表 1 『Cisco Unity Connection 向け Cisco Unified Communications Manager SIP インテグレーションガイド リリース 10.x』の表記法

表記法	説明
太字	次の場合は太字を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> キーおよびボタン名。(例：[OK] を選択します)。 ユーザが入力する情報。(例：[ユーザ名 (User Name)] ボックスに Administrator と入力します)。
<> (山カッコ)	ユーザが値を指定するパラメータを囲むために使用します。(例：[コマンドプロンプト (Command Prompt)] ウィンドウで ping <IP アドレス> と入力します)。
- (ハイフン)	同時に押す必要があるキーを表します。(例：Ctrl-Alt-Delete を押します)。
> (右向き山カッコ)	メニュー上の選択項目を区切るために使用します (例：Windows の [スタート (Start)] メニューから [プログラム (Programs)] > [Cisco Unified Serviceability] > [Real-Time Monitoring Tool] の順に選択します)。 Cisco Unity Connection Administration のナビゲーション バー (例：Cisco Unity Connection Administration で、[システム設定 (System Settings)] > [詳細設定 (Advanced)] と展開します)。

『Cisco Unity Connection 向け Cisco Unified Communications Manager SIP インテグレーションガイド リリース 10.x』では、次の表記法も使用します。

Cisco Unity Connection のマニュアル

Cisco.com にある Cisco Unity Connection のマニュアルの説明と URL については、『*Documentation Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください。このマニュアルは Cisco Unity Connection に同梱されており、次の URL から入手できます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_documentation_roadmaps_list.html

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

シスコ製品のセキュリティ

本製品には暗号化機能が備わっており、輸入、輸出、配布および使用に適用される米国および他の国の法律を順守するものとします。シスコの暗号化製品を譲渡された第三者は、その暗号化技術の輸入、輸出、配布、および使用を許可されたわけではありません。輸入業者、輸出業者、販売業者、およびユーザは、米国および他の国での法律を順守する責任があります。本製品を使用するにあたっては、関係法令の順守に同意する必要があります。米国および他の国の法律を順守できない場合は、本製品を至急送り返してください。

米国の輸出規制の詳細については、http://www.access.gpo.gov/bis/ear/ear_data.html で参照できます。

